

# 四日市市幼児教育センター

令和8年7月

## センターだより



### 夢と志を持ち、未来を創るよっかいちのこども



四日市市幼児教育センターHP

連絡先 059-333-6002

## こどもの『おもしろい！』が未来をひらく

2026・07・07

初級研修 第1回 実施

「遊びを通したこどもの育ちを考える」

～こどもが「おもしろさ」を味わうプロセスをどう読み解くか～

桜花学園大学 教授 上村晶先生

令和8年6月5日幼児教育ワーキンググループ保育専門委員会「幼児教育WG/保育専門委員会取りまとめ(案)」を通して、「遊びの深まり」の実現を目指すためのこども理解をどう進めるかという内容で研修がありました。その後、グループワークでは、一人のこどもの姿を通して、遊びや育ちについてワークショップを行い、意見を交流しました。

来月の25日には、四日市市教育委員会推進課と共催の「公開保育・実践検討会」を下野こども園にて行います。ただ今、当センターホームページより参加者を募集しています。公開保育研修テーマを架け橋プログラムの推進2年目として「こどもの『おもしろい！』が未来をひらく～0歳からの「やりたい気持ち」を小学校へ。みんなであつなく探究のバトン～」としました。「取りまとめ(案)」が提示され、こどもの「遊びの深まり」や「0歳から18歳までの学びのつながり」について、参加者一人ひとりが積極的に意見を出し合い、秋からの教育・保育に活かしていくことができればよいなと思います。

### 研修アンケートより



こどもがおもしろいと感じるところに気づき、この子はどんなことに面白さを感じ、どんなことをしてみようとして、遊びの中で学びが深まっていくのか立ち止まって、考えることの大切さを感じた。

遊びのプロセスが大切だと学んだ。自分は日々保育する中で、子どもの姿を見て考察、振り返りまでできていなかったと反省があった。一緒に遊ぶだけでなく、どうしたら更に遊びに夢中になるのかを考えて保育して行きたい。



子どもが思う面白い、大人が思う面白いには違いあって予想を遥かに超えてくる面白さがあることに保育者が、気が付かないとその子どもが感じている面白さに気づけないと思いました。子どもの発見に気づける大人になりたいと思いました。

## 第2回 おしゃべり会 実施

初級研修後、第2回おしゃべり会がありました。

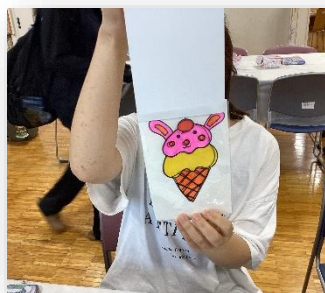
研修のワークショップでの意見交流とはまた違った、おしゃべりを楽しんでいました。また、手作り遊具の材料を選び、同じテーブルの席に着いた人同士が「何を作る」「どう作る」など話していました。

出来上がった手作り遊具をこどもたちの前でどう工夫して使おうかとイメージを膨らませている姿もありました。

保育を離れ、研修に来て、手作り遊具を目の前にし、担当しているこどもたちの姿を思い浮かべ、製作している初級研修参加者の皆さんの姿がありました。そばで様子を見守る幼児教育センターの架け橋期コーディネーター・幼児教育アドバイザーも、一緒に保育したくなるようなユーモアあふれる作品が、次々に出来上がっていました。

参加者の「明日、こどもたちとどうたのしもう？」「何をしよう」「こんな時につかおう」と考え工夫している姿に、今後も、幼児教育センターのおしゃべり会が、少しでも、明日からの保育実践につながる場の提供になっていくよう企画を考えていきたいと思いました。

また、多くの皆様から、おしゃべり会について、ご要望があれば、お気軽にお聞かせいただければと思っています。



ただいま、園の訪問を実施中です。あなたの園に幼児教育アドバイザー・架け橋期コーディネーターが訪問させていただいたおりに、どうぞお気軽にお声がけください。

あなたの疑問や悩んでいること電話相談等でも受け付けております。

予告 第3回 おしゃべり会 8月7日17:00～ 開催予定

皆様のご参加お待ちしております